

あなたのどんな声も、  
聴かれる  
権利がある。

カラダの

LISTEN

声<sup>を</sup>  
TO YOUR

聴く

BODY

アレコレワークショップ

性<sup>①</sup>についての

高校生のための

講師

ダンサー・振付家  
康本雅子

美術家  
池上恵一

対象：高校生（各回：10名程度）

右記 QR コードのフォームからお申込みください



8.3 <sup>②</sup> ~~14:00~16:00~~  
18:00~20:00

※時間が変更となりました

「どこまで知ってる？自分のカラダ」

8.4 <sup>③</sup> 14:00~16:00

「誰かのカラダを着てみたら」

at 白河市本町会館

(コミュニティ・カフェEMANON集合)

自分の本当の気持ちと言えなかった。

話してみても、ちゃんと聞いてもらえなかった。

そうした経験のある高校生のために、「声」にまつわる3つの企画を開催します。

子どもの権利条約では、「意見を表す権利」や

「表現の自由」、「差別の禁止」が保障されています。

あなたのどんな声も、聴かれる権利がある。一人ひとりの多様な声が

自由に表現され、尊重される社会を、一緒に目指しませんか？

## Message

高校生の皆さん、「性」と聞いて一瞬身構えましたか？

わざわざ口には出さないけど日々色々考える…

いやあまりに自明すぎていちいち意識しない… など人それぞれかな。

ここでは何ら知識について学ぶのではなく、皆でもしくは個人で、

性にまつわる色々な事を一緒にもしくはひっそりと考えてみる、そんな場にしたいなど。

実際の内容は、1日目は案外知らない自分のカラダについて、座学や身体ワークを通して考えます。

触れる、触れられるについて皮膚感覚で捉えるワークショップです。

2日目はロールプレイ形式の対話をつかって「性」に関するさまざまな立場や考えを

【相談者】【カウンセラー】【観察者】の3役に分かれて演じてみることによって、

自分や他者について想像してみるワークショップです。

どうぞ知らない大人だもの（私らね）、気軽にご参加下さい！



やすもと まさこ

康本雅子（ダンサー・振付家）

踊り始めたのはとうの昔。ダンス作品を発表する他、市民参加型公演の演出や、演劇や映像、コンサートなど多ジャンルにおいて振付する。また、小中学校・劇場・児童施設でのワークショップも全国各地にて行なっている。21年には白河のコミネスにて「子ら子ら」を上演。現在高校生男子の母ちゃんでもある。

いけがみ けいいち

池上恵一（美術家）

病弱だった幼少期、両親の食養法に救われる。以来、様々な手技療法や武術を習得。心と身体をつながりと変化をモチーフに、木炭デッサン、陶作品を制作し国内外で発表。近年では、肩凝りを音楽にするプロジェクトや、視覚に障害のある人とつくるアートプロジェクトへの参加など、活動は多岐にわたる。京都精華大学、嵯峨美術大学非常勤講師。

3  
つの  
企画

no 1 《カラダの声を聴く》 8月3日,4日

no 2 《声を上演する》 9月7日,8日

no 3 《声を聴き届ける》（未定）

今回のワークショップ



詳細はコミュニティ・カフェ

EMANON の HP へ

<https://emanon.fukushima.jp/>

2024年度 公益財団法人ハタチ基金 助成事業

2024年度「さなぶりファンド・みやぎ、から基金」助成事業